

CIO研究会 ステアリングコミッティの活動について

1、CIO研究会について

2013年12月、日本の大手小売業19社、ITベンダー22社により、小売業のIT戦略を主要テーマとして「CIO研究会」を立ち上げました。活発な議論が重ねられた後、一時活動を中断していたが、昨年5月にCIO研究会の中核メンバーからなるステアリングコミッティを設置し、「小売業界の活性化」をテーマに活動を再開しました。

また、CIO研究会が企画して、隔年に「リテイル&ITリーダーシップフォーラム」（通称「ITフォーラム」）を開催し、広く小売業関係者に対し、ITを活用した新たな戦略構想・小売サービスを提案しています。

2、最近の「ITフォーラム」の内容（2018年10月開催）

メインテーマ：「小売業のデジタルイノベーション」
各社の最新の取組み事例を発表頂きました。

①「デジタルトランスフォーメーションを実現する最新テクノロジー」

日本マイクロソフト(株) 執行役員 最高技術責任者 榊原 彰氏

②「店舗の再生：店舗群をテクノロジーで変革する」

(株)野村総合研究所 主席研究員 藤野 直明氏

③「ローソンを再発見する！デジタル化の先に目指すもの」

(株)ローソン 理事執行役員 オープン・イノベーションセンター長 牧野 国嗣氏

その他、5つの講演あり。

3、CIO研究会ステアリングコミッティの設置

経済産業省では、平成30年に「2025の崖」レポートを発表しました。あらゆる産業において、新たなデジタル技術を使ってこれまでにないビジネス・モデルを展開する新規参入者によりゲームチェンジが起きつつあり、企業は競争力維持・強化のために、デジタルトランスフォーメーション（DX）をスピーディーに進めていくことが求められている旨指摘しています。一方、日本の産業界における既存のレガシーシステムには多くの問題がある旨警笛を鳴らし、また、小売・流通業においてもDXへの転換が遅れており、欧米や中国のデジタル技術にも遅れをとっている状況にあります。

DXへの転換が遅れている一因として、小売・流通業の経営層においては先端技術についての理解や中長期的なビジョンの不足が、そしてITベンター側においても小売業の体系的な業務知識の不足などが挙げられています。

そこで、CIO研究会では、小売業のIT関係有識者からなるステアリングコミッティを設置し、日本の小売業経営幹部（CEO、CIO、CFO）に対し、ITやその前提となる小売業の業務プロセスの重要性や革新の方向を分かり易く解説し、日本の小売業のDX戦略立案に資する提言を行い、DX推進を啓発していくこととなりました。

4、CIO研究会・ステアリングコミッティメンバー

(敬称略・順不同)

<座長>

佐藤 元彦 (株)丸井グループ 副社長執行役員

<コーディネーター>

藤野 直明 (株)野村総合研究所 主席研究員

<委員>

山本慎一郎 (株)カスミ 代表取締役社長

西川 晋二 (株)トライアルホールディングス 取締役副会長グループCIO

滝口 勉 Ridgelinez株式会社 エグゼクティブアドバイザー

大島 誠 パナソニック(株) エグゼクティブ インダストリースペシャリスト

藤井 創一 日本マイクロソフト(株) 流通業施設 担当部長

太田 和俊 アマゾンウェブサービスジャパン(株) プリンシパル事業開発マネジャー

矢矧 晴彦 PwCコンサルティング合同会社 消費財・小売流通インダストリー パートナー

奥谷 孝司 オイシックス・ラ・大地 (株) 執行役員COCO (ChiefOmni-ChannelOfficer)

伊藤 政道 経済産業省 消費・流通政策課長

河合亜矢子 学習院大学 経済学部教授

滝澤 美帆 学習院大学 経済学部准教授

5、今後の活動

「日本の小売・流通業におけるDX戦略の基本的な考え方」を取り纏め、本年11月17日、帝国ホテルで開催予定の「ITフォーラム」において発表し、広く小売業関係者の参考に供します。また、小売・流通業における先進的なITを活用した小売サービスを提案する活動を継続して展開していきます。

「日本の小売・流通業におけるDX戦略の基本的な考え方」の構成

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 総論編 | ①顧客ニーズの変化 ②業務革新の方向性 ③企業間連携活動 他 |
| (2) 各論編 | 先進各社のDX戦略ビジョン (海外、日本8社の事例を紹介) |
| (3) 基礎知識編 | 日本小売業の典型的な情報システムについて |

以上